

<報告事項>

シマフクロウシンポジウムの報告について

令和6年12月3日
北海道森林管理局

シマフクロウ シンポジウム

～シマフクロウに象徴される
生態系を育む、国有林30年の取組～

日 程

2024年10月26日(土)

13:00～16:00 (受付開始12:00)

場 所

札幌市男女共同参画センター 3階ホール
(札幌市北区北8条西3丁目札幌エルプラザ内)

定 員

220名(要申込み)※入場無料・申込み順

プログラム

① ごあいさつ

林野庁 北海道森林管理局長 吉村 洋

② 基調講演

「シマフクロウと国有林
一対一の過去から共有への道のり、そして未来へ」
シマフクロウ環境研究会 代表 竹中 健

③ 報告

「国有林におけるシマフクロウの保全の枠組み」
林野庁 北海道森林管理局長 計画保全部 計画課

④ 活動報告

「シマフクロウに配慮した森林施策等」
北海道森林管理署 / 十勝支庁森林管理署 /
十勝西支庁森林管理署 支庁長 支庁長

⑤ パネルディスカッション

国有林のシマフクロウ保全の取組を検証し、
これまでの取組と今後の関係機関等との連携を深める

●コーディネーター 林野庁 北海道森林管理局長 次長 中野 亨

●パネラー

シマフクロウ環境研究会 代表 竹中 健

シマフクロウ保護・研究家 山本 純郎

北海道大学 教授 早矢仕 有子

国土交通省 北海道開発局 開発総務課 開発連携推進課

環境省 北海道地方環境事務所 野生生物課

林野庁 北海道森林管理局 計画保全部

【撮影地：旭山動物園】

お申込みは下記のURLまたは二次元コードからご登録をお願いいたします。

お申込みURL <https://e-vs.event-form.jp/event/83510/fishowl>

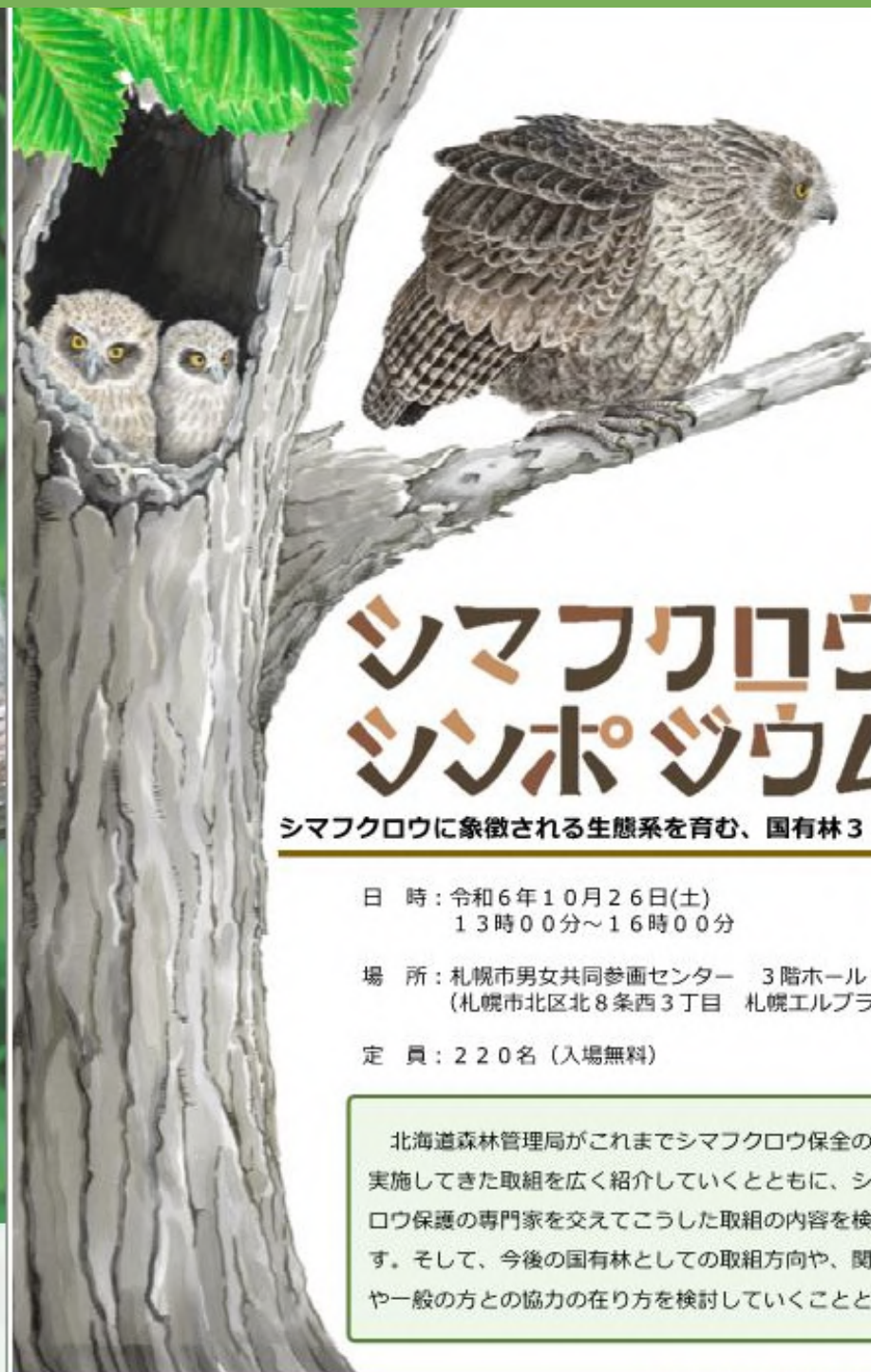
申込締切 令和6年9月30日(月曜日) ※先着順 ※定員になり次第締め切らせていただきます。※この申込等がございましたら下記までご連絡ください。

お問合せメールアドレス shima-fukurou@cerespo.co.jp



お申込み用
二次元コード

主 催 / 林野庁北海道森林管理局 後 援 / 北海道大学農学部・北海学園大学・NPO法人シマフクロウ基金・北海道



シマフクロウ シンポジウム

シマフクロウに象徴される生態系を育む、国有林30年の取組

日 時：令和6年10月26日(土)
13時00分～16時00分

場 所：札幌市男女共同参画センター 3階ホール
(札幌市北区北8条西3丁目 札幌エルプラザ内)

定 員：220名(入場無料)

北海道森林管理局がこれまでシマフクロウ保全のために
実施してきた取組を広く紹介していくとともに、シマフク
ロウ保護の専門家を交えてこうした取組の内容を検証しま
す。そして、今後の国有林としての取組方向や、関係機関
や一般の方との協力の在り方を検討していくこととします。

主催：林野庁 北海道森林管理局

シマフクロウシンポジウム ～シマフクロウに象徴される生態系を育む、国有林30年の取組～

日時：令和6年10月26日（土）13:00
場所：札幌市男女共同参画センター 3階ホール

～ プログラム ～

敬称略

13:00 開 会

ごあいさつ ・林野庁 北海道森林管理局長 吉村 洋

13:05 基調講演「シマフクロウと国有林－対立の過去から共存への道のり、そして未来へ－」

・シマフクロウ環境研究会 代表 竹中 健

13:50 報 告「国有林におけるシマフクロウの保全の枠組み」

・林野庁 北海道森林管理局 計画保全部 計画課長 寺村 智

14:00 休 憩

14:15 活動報告「シマフクロウに配慮した森林施業等」

- ・林野庁 北海道森林管理局 根釧東部森林管理署長 鷹野 孝司
- ・林野庁 北海道森林管理局 十勝東部森林管理署長 中村 峰明
- ・林野庁 北海道森林管理局 十勝西部森林管理署 東大雪支署長 中村 淳司

14:45 休 憩

15:00 パネルディスカッション

「国有林のシマフクロウ保全の取組を検証し、

これまでの取組と今後の関係機関等との連携を探る」

●コーディネーター

・林野庁 北海道森林管理局 次長 中野 亨

●パネラー

- ・シマフクロウ環境研究会 代表 竹中 健
- ・シマフクロウ保護・研究家 山本 純郎
- ・北海学園大学 教授 早矢仕 有子
- ・国土交通省 北海道開発局 開発監理部 開発連携推進課長 岡部 博一
- ・環境省 北海道地方環境事務所 野生生物課長 西野 雄一
- ・林野庁 北海道森林管理局 計画保全部長 近藤 昌幸

16:00 閉 会

以 上

シマフクロウ研究者プロフィール

竹中 健（たけなか たけし）氏（シマフクロウ環境研究会 代表）

1991年からシマフクロウの研究と保護活動始める。
分布変化と生息環境の研究で博士号を取得。
多数の生息地の繁殖状況をモニタリングし、各生息環境の特徴把握や
定量化を長年試みている。
現地調査に基づき最新の状況や問題点をいち早く把握し、各種行政機
関と情報共有しながら保護を進めることに努めている。
大阪府出身

山本 純郎（やまもと すみお）氏（シマフクロウ保護・研究家）

シマフクロウの保護活動（巣箱架けや標識調査）の先駆者。
1984年に始まった環境省の保護増殖事業は、山本氏の活動を基礎に
している。
給餌や保護個体の飼育を通してシマフクロウの生態を解明してきた。
シマフクロウの巣箱も山本氏が考案したものである。
京都府出身

早矢仕 有子（はやし ゆうこ）氏（北海学園大学 教授）

1987年からシマフクロウの生態を研究。
シマフクロウの研究で博士号を取得。
主に十勝地方のシマフクロウの生態研究に取り組み、人為的な悪影響に
ついての分析とその回避策の提案に奮闘している。
2022年に、あるシマフクロウの家族を32年間、見守り続けた研究者
の汗と涙の記録『シマフクロウ 家族の物語』を出版。
大阪府出身

